

代表質問

鳥取県議会自由民主党



藤縄 喜和 議員
選挙区 鳥取市



四期目の総仕上げに向けて

問 平井県政四期目の最終年度に向け、当初予算の編成方針を伺う。

答 就任以来最大規模の予算。まずは新型コロナから命や健康を守り抜き、ポストコロナに向けて産業や雇用を力強い成長軌道に乗せる。脱炭素化やデジタル化を念頭に人の絆を生かした安全安心を形成し、コロナ禍から回復したふるさと鳥取県をつくり直したい。

新型コロナウイルス感染症の克服

問 オミクロン株の第六波対応の総括と今後の方針について伺う。

答 飲食店街で感染拡大したデルタ株と異なり、第六波は子どもを中心に広がった。特命チームで感染拡大に網をかけ、子どもや重症

化しやすい高齢者を守ることを重点に置いた。今後小児科の協力を得て圏域ごとに小児ワクチン接種を進めていく。

人口減少時代の集落の存続

問 高齢化が進む中山間地域の集落で、生活機能を維持し、地域社会を存続するための対策は。現行の支援制度は実態に即しているか。

答 県内の山間集落調査では86%の方が住み続けたいと回答。買い物や医療、交通などニーズに沿った対策には地域で支え合う共助組織づくりが重要。中山間地での暮らしが持続可能になる工夫やサポート強化を図る。支援事業の執行に当たっては、県庁組織の改善など、在り方を含め再検討したい。

観光誘客の推進

問 ポストコロナを見据えた観光誘客と地域経済復興の展望は。

答 まん延防止等重点措置では#WeLoveキャンペーンなど観光事業支援が停止となり、事業者の息の根を止めるとの懸念がある。#WeLoveキャンペーン

を延長して県内地元観光を促すほか、アウトドア志向の旅を育てていきたい。

国際交流の再開

問 コロナ禍は逆にオンライン交流など一層の相互理解を深める契機になった。台湾はじめ親交ある地域との交流再開について伺う。

答 オンラインでも心を温め合うことができ、日台の友好親善協会をベースに鳥取・台湾ファンクラブが結成されるなど新展開を迎えた。台中や台南との人的交流や観光物産PRなど様々な形で交流を深めたい。一方、ロシアのウクライナ侵攻を踏まえロシアとの交流予算は凍結する。

スポーツ振興

問 東京オリパラで結実した競技力向上や指導体制を次のパリ五輪やその先に繋げるための課題は。

答 選手強化支援や組織的なバックアップが功を奏した。コーチの活動継続を保障するなど今後へ結び付けていきたい。

島根原発の再稼働判断

問 安全協定締結から十年に及ぶ交渉で原子炉停止要求もできる権限が得られた。協定改定と再稼働に向けた今後のスケジュールは。

答 安全協定は米子・境港両市の了解が整い、中国電力から島根県と同じ扱いとの確認を取って改定したい。再稼働については安全対策協議会など住民意見や両市の最終判断、原子力安全顧問の専門的見地を踏まえ判断することになる。

自立に向けた子どもの育成

問 不登校児童生徒数が高止まりする中、子どもたちの社会的自立支援に向けて教育現場だけでなく広い視点での取組が重要。

答 (教育長) コロナ禍を含め人との繋がりが希薄な現代社会だからこそ、子どもたちが地域の大人など多くの人と関わって自分の生き方を考える機会をつくり、育ちを支えていきたい。

交通事故防止対策

問 飲酒運転の根絶に向けてどのように取り組んでいくのか。

答 (警察本部長) 飲酒運転の死亡事故率が飲酒なしの約8倍との統計もある。飲酒運転は極めて危険で悪質な犯罪行為。事故実態の広報や取締り、職域の交通安全教育などで規範意識確立を図りたい。

代表質問

会派民主



尾崎かおる 議員
選挙区 鳥取市



知事の理想の日本、鳥取県

問 世界の中で日本の理想の姿、日本の中の理想の鳥取の姿とは。

答 世界と連帯して民主主義を守る。鳥取県は絆を結び合う力が大きい。真の豊かさは大国ということではなく小さな鳥取県にこそある。

問 経済学者の佐伯啓思氏は新自由主義について「グローバルな市場競争、果てしない競争にのめり込み、効率、自己責任、能力主義が支配する世界に困り込まれている。気に食わない者を誹謗し実在不寛容な社会。社会は人間交際の場、顔の見える繋がりで、そこに倫理や道徳が成立する。」と論評している。知事の所感を。

答 的を射ており、岸田総理の

しい資本主義に通じる。近年、株主至上主義で、新自由主義的な傾向が広がりすぎている。従業員、困っている人、地域等にも責任を持つのが資本主義の新しい姿。

コロナ禍の病院格差是正

問 病院も多大な努力をしている。しかし、亡くなった患者の家族が悔しく悲しい思いをした。真摯に親身に対応してくれた転院先とは異なり、最初の病院は対応の差があり無念だったと思う。格差が無いよう要望する。

答 亡くなられた方のご冥福をお祈りする。色々な病院がありレベルの差がある。症例の見方、治療法などの研修、鳥大病院とネットで対処法を話すなど体制を取る。

財政について

問 R3年度県予算はピーク時より一千億円減っている。どんな視点で県財政と向き合ってきたか。

答 借金を減らしたことが大きい。商工関係融資を利子補給式にし県庁舎改築をやめた。財政健全化と積極的な県政運営で二兎を追う。

幼児の安全確保について

問 私立幼稚園での熱傷事故の第三者委員会報告書の所見を問う。

答 熱傷マニュアルがなく誤った初期対応、園児の行動に対する誤った認識、職員が付き添わず受診させ、保護者対応にも誠意がみられない等が課題。県の対応も、園への報告に1カ月も要した上、当該園には改善の骨組みとして欲しい。県も役割の見える化、明確化、職員の意識改革を進める。

問 報告書に減多にない意見書があった。熱傷事故の7カ月後にも骨折事故で同じ対応がなされた。良くなるように指導して頂きたい。

答 2月に行政検査、調査に入った。子どもの安全、健康を最優先に意識改革、組織のあり方を考えるよう指導中。その他の施設にも普及させるため安全管理研修、安全管理マニュアルの作成をする。

鳥取砂丘子どもの国

問 50周年を機にオーバーホールのつもりで改修を。

答 トイレ洋式化、インクルーシブ遊具(※)等も検討する。趣きが変わり興味を持てるものを考え

東部の美術振興について

問 鳥取市が美術館建設を行う際は県が支援するという議会の附帯意見を踏まえ、東部の美術振興、県立博物館の役割について聞く。

答 新しい美術館は足し算。博物館の美術機能提供を約束する。市が美術館整備の際には支援する。

ジェンダーを軸に

問 育児休業法改正で雇用期間1年未満労働者の育休取得、産後パパ育休が取得可能に。対応は。

答 勤務1年以上の要件を撤廃する条例改正をする。民間企業へもPRする。

問 男性の性暴力被害者対応は。

答 (警察本部長) 男性捜査員、病院・捜査の付添い、医療費等の公費負担等被害男性に配慮する。24時間相談専用電話#8・1・0・3(ハートさん)を設置している。

問 農業の場合、家族協定があり、労働・対価・役割などを見える化し、皆が経営に関わる意識を持つ。商工業でも家族の意識改革をし、自営業の女性がより良い環境で働くため同様の取組をしてはどうか。

答 商工と農業は法規制が違い、それぞれ工夫してもらおうのが良い。モデルケースの横展開を図る。

代表質問

一般質問

常任委員会活動

議決結果

※インクルーシブ遊具…障がいの有無を問わず誰もが遊べる遊具